

# 広報ひがしの

No169

令和2年

2020.10.1

人口1673人

(男)845人

(女)828人

世帯数

631世帯

(R2.9.1現在)



全力で取り組む小学生の姿（運動会応援練習＆命を守る訓練）

命を守る訓練・・・1階の廊下は煙が充满し、臨場感あふれる訓練になりました



## 東野で起きた令和2年7月豪雨

撮影：令和2年7月8日～14日



保古山



阿木川ダムの放水



飯沼川（下橋戸橋付近）

初めて経験した大雨特別警報。東野でも豪雨に見舞われ、川の増水、土砂崩れ。用水路の氾濫など大きな被害がありました。消防団は昼夜にわたり、東野地内の危険箇所の見回り、市への報告等を行いました。お疲れさまでした。

白坂



杉山の清水



定蓮寺川（公文橋付近）



飯沼川（下橋戸橋から）

7月8日(水)6時30分、岐阜県の東濃、中濃、飛騨地方に大雨特別警報が発表されました。その後、長野県の松本地域、乗鞍上高地地域、南部に大雨特別警報が発表されました。

今回の大雨は、これまでに経験したことのないような大雨でした。何らかの災害がすでに発生している可能性が高く、警戒レベル5に相当する状況です。

今回の降雨は大量の雨のため、真っ白に見え、木曽で伝えられてきた雨の様子を表す「白い雨」でした。木曽地方では、「白い雨が降るとぬける」と言い伝えられてきました。この、土石流災害のことを「蛇抜」（じゃぬけ）という名称で呼んでいるそうです。

木曽川右岸の天白公園の道路沿いに、巨大な岩を使って造られた「蛇ぬけの碑」が建っています。



じゃ抜けの碑

昭和28年7月20日、この碑がある場所を襲い3名が犠牲になった土石流災害の教訓を伝えるため、昭和35年に地元有志によって建てられました。像の礎石には、『白い雨が降るとぬける。尾根の先、谷の出口、お宮の前には家を建てるな。雨に風が加わると危い。長雨後、谷の水が急に止まつたらぬける。蛇ぬけの水は黒い。蛇ぬけの前にはきな臭い匂いがする。』という木曽で伝えられてきた、ことわざを刻み、後世への戒めとしました。

7月8日の猛烈な雨の勢いを見たとき、「白い雨」や蛇ぬけのことわざを実感しました。言い伝えやことわざ、地名などに、私たちの命を守る教えがあると思いました。



厚生労働省ホームページよりダウンロード

皆さんのご厚意で、新型コロナウイルス対策のための、無料ダウンロードできるイラストやポスターがたくさんあります。ぜひご利用ください。

『3月のライオン』で有名な漫画家、羽海野チカさんと感染症専門医・忽那（くつな）賢志先生の不思議なご縁で忽那先生が、羽海野チカさんに、3姉妹が楽しそうに手洗いをしているイラストを依頼しました。

営利目的以外の利用は自由です。インターネットで『羽海野チカ コロナ』と検索してください。プリントアウトしての掲示や、周りの方々へ配布することもできます。



みんなのゆびのさきっちょとゆびとゆびのすきま、あと、おやゆのまきりとてこうがいすきま！  
そがらみんなのおめめとおくににじんぱいすい！  
でもマジめでよ～くてをあらわらうときえちうらん！

## 鈴虫2題

## 鈴虫の赤ちゃんがやつてきた 7月10日（金）

下浜井場在住の渡辺幸典さんが恵那山荘で永年飼育し、孵化させた鈴虫の幼虫千匹をこども園に届けました。この日孵化したばかりの白い鈴虫もいて、園児たちはその小ささにびっくりしていました。



初めに、渡辺さんから鈴虫の鳴き声や飼育方法を教えてもらいました。鈴虫の鳴き声を尋ねられ、ある園児が「ミーンミーン」と答えました。早速、「違うよ。リーンリーンだよ。」と答える園児がいて、楽しく鈴虫について勉強しました。餌の種類や世話の仕方を習った後、グループに分かれ、近くでじっくり観察します。



## 鈴虫を飼つてみたいな 7月16日（木）

小学校では1年生が鈴虫の勉強をしました。今回も渡辺さんが先生になり、1年生に鈴虫のことを話してくれました。鈴虫のオスとメスの見分け方、お世話の仕方、餌の与え方、一度に100個の卵を産むことなど、飼育の方法や鈴虫の生態を教えてくださいました。

渡辺さんが「お世話をしてくれますか？」と聞くと「ハイ」と元気な返事が返ってきました。

一人の子どもが、「家でも飼つてみたい」と感想を発表したら、「ぼくも飼いたい。」と話す子どもが続出。希望する児童に鈴虫がプレゼントされることになりました。



例年になく長引く梅雨、そちら中の雑草が伸び放題。多くの方が花の植栽や草刈り等の環境美化にご尽力くださいました。

## 東雲会花壇植栽作業 6月20日（土）

東雲会の皆さんが東野地内3ヶ所の花壇の花苗を植えてくださいました。時折雨が降る不安定な天気でしたが黙々と作業を行つていただき、11時頃には美しい花壇になりました。今回は、マリーゴー



## 愛林碑除草作業 6月27日（土）

炎天下の下、保古山道上林道の除草作業終了後、息つく間もなく、愛林碑の除草作業を行いました。

役員に就任する時期が1か月遅れたため、愛林碑の雑草が繁っていましたが、炎天下の中、役員全員で作業を行つたため、短時間できれいになりました。



す。

東野の森林の歴史

東野にとって大切な植林の歴史を知るために、愛林碑の石碑の裏を読んだり禁伐制度の八種木を探したり、これらの木々を観察したりしてみてください。

## 稻作について学びました 6月15日（月）

4・5月が休校だったため、田植えの体験学習ができず、先生方で田植えをしました。

稻作体験を通して、働くことや食物への感謝の気持ち等が育まれる大切な学習です。今年も4・5年生が稻作を行うために、地域講師の丸山文憲さんをお招きし、稻作について学びました。米粒1粒が何百粒にも増えることを教えてもらい、びっくりする児童でした。

田起こし、塩水選、代かき、田植え、除草、稻刈り、脱穀など多くの作業を経てお米になることを学びました。

歌舞伎保存会や東雲会、農業経験者など多くの地域の方々が来校し、たくさんのこと教えていただけた子どもたちは幸せです。



## 飯沼川河川敷の草刈作業実施 7月25日（土）

『飯沼川を通じて郷土愛を育てる会』（会長伊藤宮夫さん）の皆さん40名が梅雨明け前の蒸し暑い中、1時間以上、汗をたらせながら、飯沼川河畔の草刈り作業やごみや流木などの撤去や清掃をして下さいました。



毎年、『飯沼川を通じて郷土愛を育てる会』の皆さん草刈作業は年数回、実施していただいています。今年は7月の豪雨のため、飯沼川が増水し、危険な状態でしたが、皆さん一人ひとりが慎重に草刈りをしていただき、すっかりきれいな河畔となりました。



今年こそ、飯沼川に子どもの歓声が響くことを期待していましたが、川遊び（マスつかみ）が中止に追い込まれてしまつたのが残念でした。環境保全や子どもたちの健やかな成長を願い、支えてくださっている大人がいることを子ども達に伝えてくださいますようお願いいたします。

## 災害福祉マップ

社会福祉協議会東野支部では、災害等の緊急時に安全な場所への避難の支援を必要とする方を要援護者として登録しています。登録することで自治会の災害福祉マップに要援護者世帯として記載され、災害発生時等の安否確認や救助に活用されます。また、地域の見守りにも活用してまいります。



- 要援護者とは（次のいずれかに該当する世帯）**
- ① 65歳以上で一人暮らしの世帯
  - ② 高齢者のみの世帯（70歳以上の方のみの世帯）
  - ③ 自ら避難することが困難な方（要介護者、障がい者、高齢者等）が住む世帯
  - ④ 昼間、高齢者のみになってしまふ世帯
  - ⑤ 母子父子のみの世帯
  - ⑥ その他必要と認められる世帯
- （①から⑥に該当する方で、災害福祉マップの趣旨に同意した世帯に限ります）



## 涼やかな花

連日のように35℃を超える猛暑日が記録され、命の危険すら感ずるこの夏でした。そんな夏に南大門の小坂求さんがコミセンにサギ草を持ってきてくださいました。来館者や利用者がホールに置かれた可憐な姿に目を留め、可愛い花だねとおっしゃる姿が見られました。暑い毎日でしたが、涼しげなその姿に癒されました。ありがとうございました。



- 災害福祉マップへの登録や登録内容の変更は社会福祉協議会東野支部（東野振興事務所）又は自治会の福祉協力員へご連絡ください。
- お問合せ 社会福祉協議会東野支部（東野振興事務所）  
TEL 261-2244
- 5月に、地域の方から、平成元年～平成8年のアサヒグラフ約380冊を寄贈していただきました。バブル華やかな時代の世相を反映した各地の様子、崩壊前の旧ソ連や高倉健の特集等、30年前の世界や日本が写されていました。ゆっくり見ると一日で足りないと思います。
- また、別の方からも20世紀の1年を毎週特集した「日録20世紀」100冊、昭和16年～昭和22年の「週刊朝日」約100冊を寄贈していただきました。特に週刊朝日は、太平洋戦争直前から敗戦、戦後の混乱期の様子がよく伝わってきます。特に戦前のものは、日本の戦況が不利になるにつれ、軍事色が強いものになつてていることが一目瞭然です。
- いづれも貴重なものなので貸し出しはできませんが、図書室に置いていますので閲覧が可能です。
- 閲覧をご希望の方は、コミセンの職員にお申し出ください。



**階段の絵画を入れ替えました**

階段の踊り場に長い間、渡辺英子さんの絵画を飾らせていただき、来館者の目を楽しませてくれました。渡辺さんから代わりの作品として、依馬英子さんの作品を紹介いただきました。

第8回前田青邨記念大賞に出品され入選となつた作品です。画題は「戯れ」、50号の大作です。群生する真っ赤な彼岸花の中央に舞う黒いアゲハ蝶が1匹。幻想的な作品です。

コミセンにお越しの際にご覧いただけば幸いです。

依馬さんの大切な作品を預からせていただき感謝いたします。また、今まで作品を飾らせていただいた渡辺英子さんありがとうございました。



ありがとうございました

5月に、地域の方から、平成元年～平成8年のアサヒグラフ約380冊を寄贈していただきました。バブル華やかな時代の世相を反映した各地の様子、崩壊前の旧ソ連や高倉健の特集等、30年前の世界や日本が写されていました。ゆっくり見ると一日で足りないと思います。

また、別の方からも20世紀の1年を毎週特集した「日録20世紀」100冊、昭和16年～昭和22年の「週刊朝日」約100冊を寄贈していただきました。特に週刊朝日は、太平洋戦争直前から敗戦、戦後の混乱期の様子がよく伝わってきます。特に戦前のものは、日本の戦況が不利になるにつれ、軍事色が強いものになつてていることが一目瞭然です。

いづれも貴重なものなので貸し出しはできませんが、図書室に置いていますので閲覧が可能です。

閲覧をご希望の方は、コミセンの職員にお申し出ください。

## 地域の話題

## ストップ「コロナ・ハラスメント」 一新型コロナ差別を許さない

新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナと略します）は人類未知のウイルスであり、誰しも怖いものです。この病気による差別（コロナ・ハラスメント）が問題になっています。例えば、退院した感染者が、お店の方から「帰れ」と言われた、インターネットで感染者を名指しするような書き込みがあった、感染者の名前、家族構成、職場先、感染経路……など、本当かどうかわからぬ噂話が、町中に回っている等々。



岐阜県では、県知事、首長が連名でストップ「コロナ・ハラスメント」宣言を発表しました。コロナ・ハラスメントは絶対に許されないことです。私たちが闘う相手は、新型コロナという「ウイルス」であって、「人間」ではありません。この病気に対する恐怖心、誤解や偏見により、知らず知らずのうちに誰かを排除したり、差別することがあります。

新型コロナは誰もが感染するリスクがあります。もし、自分が感染し、自分がしたような誹謗中傷をされたらどうでしょう？

偏見、差別を広げるようなSNS等での投稿や、無責任なうわさ話に惑わされないようにするとともに、偏見を助長する話や根拠のない話には異議を唱え、正していくことが大切です。

新型コロナウイルスは人の中にある弱い心を攻撃します。感染疑いも含め、感染者を誹謗・中傷・差別することは絶対にしない、させない、許さない恵那市や東野でありたいと思います。



公演は中止でも小学生は頑張っています



が、下からハンドルで操作できるようなく開閉できるようになりました。

あまり大きな変化は感じられませんが、新調したカーテンの手触りは格別です。いつまでもきれいな状態を維持したいと思います。ご利用の皆様もコメントの利用に関し格別の配慮をお願いします。

今年度、カーテン購入のための予算をお願いし、認められました。8月26日から業者さんが入り、新しいカーテンを取り付けてもらいました。



上の写真のように、コミセンのカーテンは破損や劣化が目立ち、きれいなカーテンを望む声がたくさん寄せられました。

カーテン一新

\* \* 令和2年度 文化祭・音楽祭を中止します \* \*  
今年は、文化祭に代わり、各種団体の作品展・写真展を実施します。

開催期間:10月24日(土)~11月1日(日)

人と出会う機会が減っています。そんな昨今ですが、東野の心を一つにするためにも、多くの皆さんの出展をお待ちしています。

申込期限:10月16日(金)まで  
申込先:東野コミセン



写真展の申込みも受け付けています。以前配布しました応募票をご提出ください。写真展の募集チラシや応募票はコミセンにもあります。

お子さんが撮影した東野の写真や風景も大歓迎です。フォトフレームはヨミセんで用意します。

休みては帽に風入れ稗を取て  
花蓮の苔数へに二度三度

時季来ればツクツクボウシ声枯らす  
気が付ければ土用のうなぎ過ぎておる

四阿（あずまや）の風心地よき三  
千代紙の貼り絵で残暑見舞かな  
立秋や「どうや」の羊羹持て客  
遠目にもくつきり見える百日紅

芸  
花無山句会 令和2年8月21日  
東野コミュニケーションセンター  
自選句

千藤猛司  
らす  
おる

## 地域を知る・東野を知る

### 歌舞伎も中止

今から30年前の平成3年9月、25年ぶりに復活した東野歌舞伎ですが、令和2年の公演は中止となつてしましました。今月号では、趣向を変え、東野歌舞伎と共に歩んだ恵東座や村芝居、歌舞伎保存会発足当時の様子を紹介します。

平成14年12月号  
恵東座はこんなところ

公民館だより 千藤恵三館長執筆（一部省略）

東野の芝居といえば恵東座。あの建物で演じた人、見物席での五段、十段と重ねられた弁当を食べた

人。舞台設営を手伝つた人。多くの人々の思い出の東座。

建築当時、村で一番の用材を使つたと言われたように、梁は南北10数間の通しであり、大人2人でも恐らく抱えきれない大木であつたと思ひ出される。

昭和34年には、現上皇陛下のご成婚記念の幕が作られており、恵東座で使われていた。歌舞伎は青年団を中心

に昭和41年頃まで続けられていたが、その後青年団が衰退、歌舞伎も行われず恵

東座は使われるうことなく、同時に床、屋根の損傷もひどく危険となり、立ち入ることはなかつた。



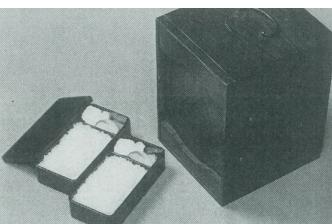
ありし日の恵東座（アーカイブス ふるさと東野より）

芝居の弁当 土方紀代子先生執筆（一部抜粋）  
(日本の食生活全集 聞き書岐阜県の食事より)

お蚕をしまい、一区切りをつけたところで、村芝居が催される。青年団を中心に夜ごと練習した忠臣蔵や義経千本桜などの出し物を、顔なじみの村人に見てもらう。若い娘は着飾り、他家へ嫁に行った娘は里帰りをする。新参の嫁を村人に披露する場でもある。一年中で村が1番華やぐ1日になる。

主婦は朝早くからわりご弁当を作る。わりごとは、中に仕切りのついた小さな漆塗りの弁当箱

で、お祭りには10個ぐらい入る共の手提げ袋に入れてさげていく。この日は白米を炊き、おかずにはかまぼこや『こも豆腐』（わらで巻いて煮含めた豆腐）、秋えんどうや里芋を煮たものなどを作る。

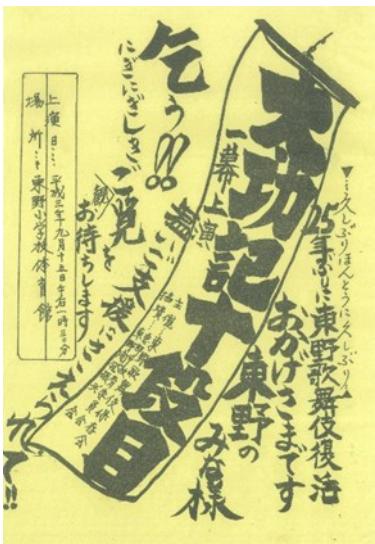


芝居見物のわりご弁当

ただ昭和45年に久し振りに東野で歌舞伎が行われたが、舞台は旧小学校の講堂である。  
昭和47年、開発振興会では「今なら買い手もあるが、その後になれば解体費を要する」という説明がなされ、解体やむなしにの結論にいたつた。  
その後、平成3年、渡辺（浩光）さんらのお骨折りで保存会が設立、開演された。  
会場は体育館、あの弁当は見当らない。引幕の「恵東座」の文字だけが当時を偲ぶ景色である。  
（浩光）さんらのお骨折りで保存会が設立、開演された。



### 写真で振り返る 歌舞伎保存会、発足当時



第1回東野歌舞伎公演開催のチラシ



平成2年敬老会歌舞伎上演



平成2年、敬老会で有志が歌舞伎を披露しました。大好評で、東野歌舞伎復活の機運が盛り上がり、東野歌舞伎保存会が発足しました。  
第1回公演会の外題は「太功記十段目」



平成3年 第1回歌舞伎公演



講座名・講師	対象	講座内容	回数	時間・初回日
庭木の剪定 戸田 良秋	一般 10名	初歩から、剪定・消毒の仕方を学びます。自宅の庭をキレイにしてみませんか。	3	水曜日 1/13 9:00~11:00
四海巻き寿司作り 伊藤 真理	一般 8組	お祝いの席にもピッタリの「四海巻き」を作ってみませんか？今日の一品にどうぞ！ ※若い方、男性も大歓迎です。	1	木曜日 11/12 9:30~11:30
THE SLOW ブレスウォーク &はじめてのバレトン 有我万美子	一般 20名	ピラティス、呼吸、ウォーキングの入ったブレスウォーキングで姿勢を整え、脂肪燃焼させて、健康美を追求しませんか？	8	金曜日 10/23 10:00~11:30
楽しく歩こう！東野散歩 赤尾 袂夫	一般 20名	皆さんと一緒にお話ししながら、軽やかなウォーキング	8	金曜日 10/9 10:00~12:00
かんたん！ ビーズアクセサリー 堀 春美	一般 5名	簡単にできるオリジナルアクセサリー。自分だけのお気に入りを作ってみよう！	2	土曜日 10/17 10:00~12:00
恵那マジッククラブ 湯野 辰雄	一般 5名	マジックは多種多様（コイン・トランプ等々）です。その方法を解き明かし、実践して自分のものにしましょう。若い方大歓迎！	5	土曜日 10/10 13:00~15:00

◎講座の受付は、9月12日（土）から始まっています。前期講座が中止となつたため、初・再受講の区分がなく、すべての方が9月12日から受付をしました。

◎申し込みが終了した講座もありますが、余裕のある講座もあります。講座の受講を希望される方は、お気軽にコニセンまでお問い合わせください。

●新型コロナウイルス感染症に対する安全対策により、講座内容の変更や講座が中止となることがあるご承知ください。全講座マスクの着用をお願いします。

## 発 行

東野地域自治区運営協議会

した。▼東野の暮らしの中にも、川や水害の影響が深くかかわっています。水害や災害時だけではなく、普段の川や橋などの歴史や普段の様子にも目を向ける事が大切だと感じました。



が建設されました。▼東野の暮らしの中にも、川や水害の影響が深くかかわっています。水害や災害時だけではなく、普段の川や橋などの歴史や普段の様子にも目を向ける事が大切だと感じました。

7月の豪雨では、岐阜県にも大雨特別警報が発表されました。特別警報とは警報の発表基準をはるかに超える規模で起きるような甚大な被害が発生する恐れがあり、最大級の警戒をする必要がある場合に発表されるそうです。▼今月号2ページの東野の河川の増水や土砂崩れは集中豪雨の一部で警戒レベル5（数十年に一度の降水量が予想される場合）に相当します。▼集中豪雨は九州や沖縄で起きると考えがちですが、岐阜県をはじめ日本の広範囲で甚大な被害をもたらしました。この時の集中豪雨による川の増水の様子が映されていました。球磨川や筑後川、飛騨川、木曽川、最上川といった大河川の増水や丈夫そうな橋脚がいとも簡単に流される様に恐怖を感じました。▼飯沼川と阿木川が通る東野でも昔から水害が発生し、橋が流されていました。カラ橋（高柳橋）が水害で壊され、生じ、橋が流されていました。カラ橋も、地元の方々が負担金を出し、昭和35年、現在の永久橋



編集後記